

## WS①：こんな統合になると素敵だな

### 【グループ A】

#### 1. いっしょになって良かった！

- ◆ 3地区の大人も子どもも一つになれる統合にする。
- ◆ 栄川学区の良さを学べる授業を行う。
- ◆ 令和9年4月からは、みんなで東山口小学校をつくり上げていく姿勢を持つ。

#### 2. 楽しい学校

- ◆ 登校が楽しみになる学校をつくる。
- ◆ 不登校の子がいない学校をつくる。(学校に行くことが嫌だと言わない子ども)
- ◆ いじめが無い学校をつくる。
- ◆ 多くの友達と関わりを持てる学校。
- ◆ みんなが平等で楽しく、自由にのびのびと過ごせる。
- ◆ 日々、校歌を口ずさむ生活環境にする。
- ◆ 人数が増え、運動会等が楽しみになる。

#### 3. こんな教室に

- ◆ 教室空間の見直しをする。
- ◆ 教室外に子どもたちの荷物スペースをつくる。
- ◆ 多目的な教室をつくる。

#### 4. 新しい学校のスタート

- ◆ 両校の子どもたちが同じスタートラインに立てる統合にする。
- ◆ 統合を経験した子どもたちが、大人になった時に思い出せるような統合にする。  
→「友達が増えて楽しかった」「校歌や校章、校訓をみんなで考えたね」

#### 5. 新しい母校、思い出づくり

- ◆ 新しい母校をつくる意識を持ちながら、統合準備を進める。

#### 6. 地区

- ◆ 他地区から見られて恥ずかしくない統合にする。  
→子どもたちのことを考えず、大人の意見だけでゴタゴタにしない。
- ◆ お互いの地区をわかる。

#### 7. 地域との関わり

- ◆ PTA 関係者が自由に出入りできる学校にする。
- ◆ 自主的な学びのできる授業を行う。
- ◆ 住民が応援したくなる、地域に根差した学校。
- ◆ 地区の活動や行事に参加できる学校。
- ◆ 地域資源がたくさんあるので、体験学習を充実させ、子どもたちに継承する。

グループ名 A ①こんな統合になると素敵だな

いよいよ  
よかっ!

1. 地域との連携  
2. 学校の特色  
3. 先生方の熱意  
4. 生徒の個性

スタート

1. 地域との連携  
2. 学校の特色  
3. 先生方の熱意  
4. 生徒の個性

楽しい学校

1. 先生方の熱意  
2. 生徒の個性  
3. 地域との連携  
4. 学校の特色

みんな  
教室に

1. 先生方の熱意  
2. 生徒の個性  
3. 地域との連携  
4. 学校の特色

地区

1. 先生方の熱意  
2. 生徒の個性  
3. 地域との連携  
4. 学校の特色

新しい学校

1. 先生方の熱意  
2. 生徒の個性  
3. 地域との連携  
4. 学校の特色

個性

1. 先生方の熱意  
2. 生徒の個性  
3. 地域との連携  
4. 学校の特色

地域との関わり

1. 先生方の熱意  
2. 生徒の個性  
3. 地域との連携  
4. 学校の特色

## 【グループ B】

### 1. 土台

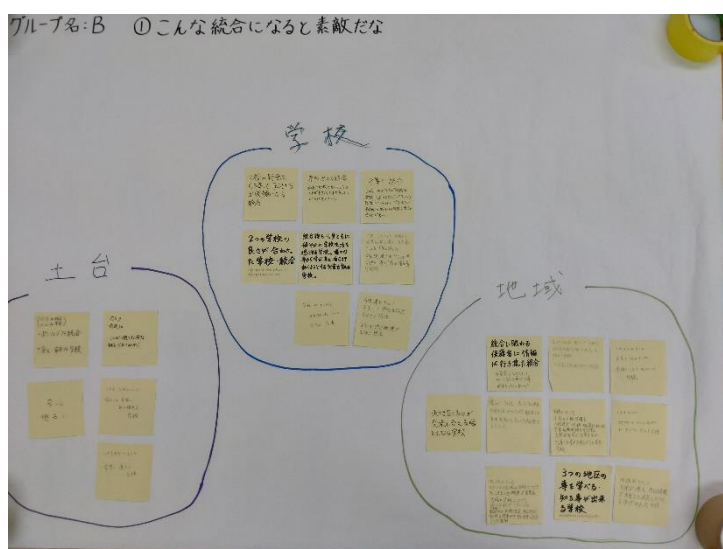
- ◆ ポジティブな統合にする。
- ◆ 安心安全で明るい学校をつくる。
- ◆ これまでの観を転換する。概念や枠組みを取り払う。

### 2. 学校

- ◆ 両校の良さを生かした学校をつくる。
- ◆ 尊重し合える統合にする。
- ◆ 統合後も、心身ともに穏やかに過ごせる学校にする。
- ◆ 子どもたちの主体性を育める学校にする。
- ◆ 人数や学習内容が増え、やりたいこと・学びたいことに挑戦できる学校をつくる。
- ◆ 子どもたちが切磋琢磨できる環境をつくる。

### 3. 地域

- ◆ 3地区の子どもたちが通う、新しい学校をつくる。  
→地域差別の無い統合にする。
- ◆ 3地区の子どもたちや保護者、住民全員が「良かった」と思える統合にする。
- ◆ 地域について学べる学校。地域住民と交流ができる学校をつくる。
- ◆ 保護者が、たくさんの友達と様々な経験をしながら成長する子どもの姿を見られる学校にする。
- ◆ 保護者に情報が十分に周知されている統合にする。
- ◆ 地域の住民が交流し合える場ともなる学校。



## 【グループ C】

### 1. 新しい学校づくり

- ◆ 子どもたちが安心して登校できる学校をつくる。
- ◆ 子どもの負担が少ない統合にする。
- ◆ 誰ひとり泣かない統合にする。
- ◆ 市内で一番の学校をつくる。
- ◆ みんなが心機一転して新しい学校をつくり上げていく。
- ◆ より良い教育環境を整備する。

### 2. 子どもたちが楽しみに思える学校

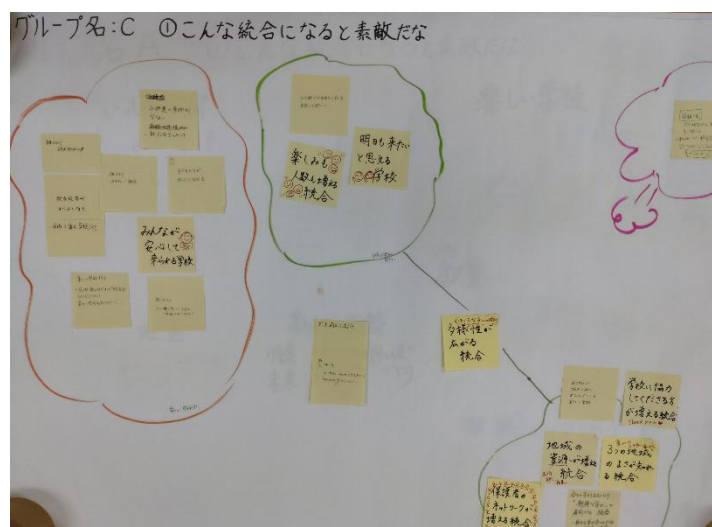
- ◆ 楽しみも人数も増える統合にする。
- ◆ 明日も来たいと思える学校をつくる。
- ◆ 少人数ではできない良さを実感できる学校にする。
- ◆ 多様性が広がる統合。多様な他者を理解できる。

### 3. 地域とのつながり

- ◆ 学校をサポートしてくれる人が増える統合にする。
- ◆ 地域が協力し合い、みんなで新しい学校をつくる。
- ◆ 3地区の良さが学べる統合にする。
- ◆ 子どもたちが新鮮な学びを展開できる統合にする。
- ◆ これから一緒に学んでいく新しい仲間と出会う。
- ◆ 新たな地域学習を展開する。
- ◆ 保護者のネットワークが増える統合。
- ◆ 地域の資源が増える統合。

### 4. 話題性

- ◆ 他地域の人にも関心を持ってもらう。
- ◆ 人数が少ないから統合するのではなく、プラスのイメージを持って統合したい。



## WS②：子どもたちが新たなスタートを切ることができる取り組みを考えよう 【グループ A】

『子どもたちが自分たちで「〇〇」を考える』→取り組む（教員、保護者、地域の関わり）

- ◆ 子どもたちが中心に進めることで、学校に対する愛着や、新しい仲間とつくるワクワク感が生まれる。
- ◆ 統合準備を楽しく進める。

### 1. 新たな〇〇を考える

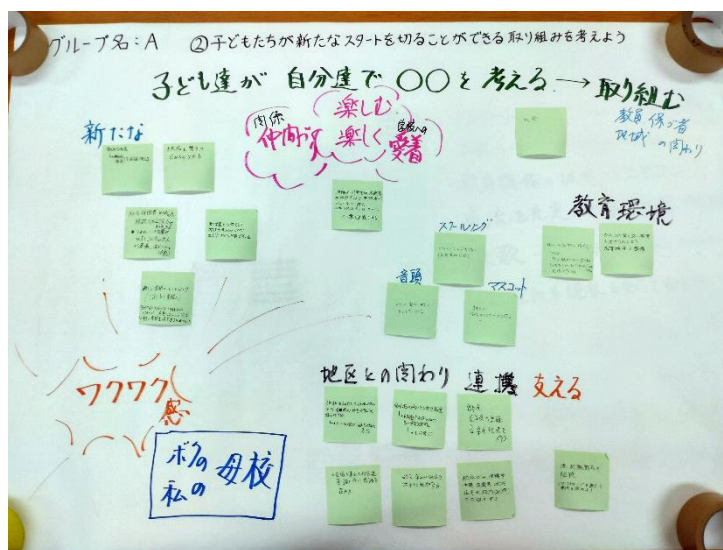
- ◆ 学校名や校章、校歌を子どもたちが考える。  
→学校名を変えて、新たなスタートを切る。
- ◆ 校歌作成委員会を立ち上げる。歌詞に入れたい言葉や地名を、子どもたちや地域から募集する。
- ◆ 新しい学校の校訓やルールづくりを行う。
- ◆ スクールソングや音頭、マスコットキャラクターを作る。

### 2. 地区との関わり・連携

- ◆ 地域の文化や伝統について理解を深める。
- ◆ 地域の行事に参加する。
- ◆ 食事会や見学会を実施する。音楽発表を行う。
- ◆ 栄川地域の良いところを発見する授業を行う。
- ◆ お互いの地区の良さを体験できる取り組み（フィールドワークなど）を行う。
- ◆ 新しい学校の開校日に、保護者や地域住民、教職員が正門で子どもたちをお迎えする。

### 3. 教育環境

- ◆ 質の高い教育を受けられる環境を整備する。
- ◆ ほっと一息できる場所をつくる。環境に馴染めない子どもたちの居場所をつくる。



## 【グループ B】

### 1. アンケートを通じた意見収集

- ◆ 学校名や校章、校歌の変更に関するアンケートを保護者（未就学児を含む）に実施する。  
→保護者の意見が反映されないまま、決定して良いのか。

### 2. 子どもたちのケア

- ◆ 子どもたちに統合について説明し、理解してもらう。
- ◆ 教職員の統合業務を最小限にして、子どもたちと向き合う時間を大切にして欲しい。
- ◆ 子どもたちの心の不安を取り除く。悩みに気づいてあげる。

### 3. 教育設備の拡充

- ◆ エアコンを設置する。
- ◆ 学校施設を改修できるように予算を組み、子どもたちが安心・安全に過ごせる環境を整備する。
- ◆ 明るく綺麗な学校施設にする。

### 4. 小中交流の促進

- ◆ 統合前に、お互いの理解を深める。
- ◆ 令和8年度は、交流の機会をさらに増やす。
- ◆ 両校の文化や伝統を尊重した行事や活動を実施する。

### 5. 校歌の作成

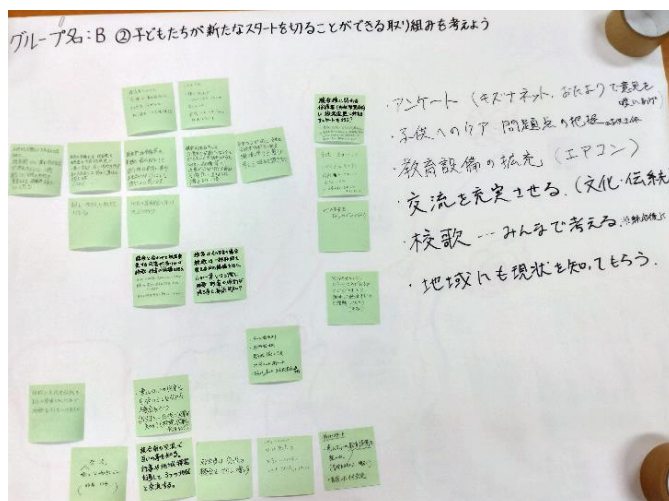
- ◆ 統合後に、みんなで新しい校歌をつくる

### 6. 地域との関わり

- ◆ 統合に向けた検討状況について、今まで以上に地域の方に知っていただく。  
→小中一貫校整備の際も、学校名や校歌、校章を検討する必要があることを事前に周知する。
- ◆ 行事や地域探求を通して、3地区について学ぶ機会を設ける。

### 7. 学校教育

- ◆ 地域に開かれた学校を目指す。
- ◆ チーム担任制、教科担任制を取り入れる。
- ◆ 異学年交流を充実させる。



## 【グループ C】

### 1. 子どもたちの心のケア

- ◆ 子どもたちの心の負担を減らす。
- ◆ 子どもたちが相談しやすい環境をつくるため、統合後の教員の配置を配慮する。
- ◆ 統合の前後で、心の相談会を実施する。
- ◆ 事前交流を通して、一緒に学ぶ仲間づくりをする。

### 2. にこにこした統合

- ◆ マイナスなイメージではなく、ポジティブな発信をする。
- ◆ 家庭でも統合について子どもと話す。子どもたちが不安にならないように、保護者が明るいイメージを持って統合準備を行う。

### 3. 子どもたちが楽しめるイベントの企画

- ◆ 子どもたち自身が考えて、新しい学校をつくる。
- ◆ 一体感を醸成するイベントを企画する。
- ◆ 統合のお祝い会を行う。
- ◆ 新しい全校写真を撮る。
- ◆ 新しい学校のマスコットキャラクターをつくる。
- ◆ かがやきカード（友達の良いところを書いて渡す）を統合後も継続して行う。

### 4. 地域との関わり

- ◆ 3地区の特徴や文化、伝統を学び合える授業を行う。
- ◆ 地域教材を発掘する。
- ◆ 地域交流を行う。

### 5. 統合の見える化

- ◆ 統合後の様子を想像できるように、通学体験や学校探検を行う。

